

平成 30 年度事業報告書

(2018.4.1～2019.3.31)

一般社団法人 富山県薬業連合会

I. 実施事業の内容

1. 配置従事者の資質向上に関する事業（実施事業会計）

●新規配置従事者の研修事業

初めて配置販売に従事する者を対象に、普通課程研修を10月に10日間実施しました。

●既存配置従事者及び新法配置従事者の資質向上研修事業

既存配置従事者から委託を受けて、厚生労働省が示した一定水準に沿った30時間の研修会を年8回実施し、修了者は222名（通信講座含む）でした。

新法配置販売業者の体制省令に対応した1日6時間、2日間の研修会を年5回実施し、修了者は134名（通信講座含む）でした。

配置従事者の専門的な知識を深めるため、専門課程研修を設け、8月17日に『認知症コース』を実施し、36名が受講しました。

●登録販売者試験対策に関する事業

既存配置従事者の登録販売者試験対策として、特別課程研修を7月下旬から8月上旬に10日間実施しました。

2. 医薬品に関する国際交流事業

●薬業交流訪問団の派遣

（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）の2018年度RIT事業の採択を受け、11月19日～23日までの5日間、スペイン・マドリッドへ会員企業、富山県、ジェトロ富山等、総勢17名の訪問団を派遣し、現地製薬企業の視察やセミナー・商談会の実施により、ビジネス交流の促進を行いました。

2月5日～9日までの5日間、フィリピン・マニラへ会員企業、日薬連、富山県、ジェトロ富山等、総勢26名の訪問団を派遣し、現地製薬企業や医薬品関係団体担当者との面談を通して、ビジネス交流の促進を行いました。

●医薬品貿易に関する研修事業

会員企業の医薬品貿易の促進を図るため、12月19日に外部講師を招き、富山国際会議場において、セミナー「フィリピン医薬品産業について」を開催しました。

●海外訪問団の受入対応

7月30日～8月1日までの3日間、台湾保健栄養食品商機訪問団が県内を訪問され、会員企業2社へ訪問したほか、日台中小企業経営者富山県交流会に会員企業5社が参加しました。

8月8日～10日までの3日間、中国貴州省発展改革委員会が県内を訪問され、会員企業1社へ訪問したほか、当会事務所にて面談を行いました。

●医薬品の交流に係る覚書（MOU）の締結

4月25日にマレーシア製薬協会（MOPI）、5月30日にミャンマー医薬品・医療機器事業者協会（MPMEEA）、5月31日に台湾（財）医薬工業技術発展センター（PITDC）と当会の間で、それぞれ医薬品の交流に関するMOUを締結しました。

3. 医薬品産業活性化事業

● インターフェックスジャパン等出展に関する事業

海外市場に目を向けた経済活動の促進や受託製造の更なる推進を図るため、6月27日～29日に東京ビッグサイトで開催されたインターフェックスジャパンにブースを出展し、会員企業8社と共同出展しました。

● 製造業の受託製造推進等に関する事業

受託製造の増加に向けて、大手製薬企業関係者等を本県に招聘し、ビジネスマッチングに繋げるため、講演会等を開催しました。

● 製造管理技術力向上に関する事業

県内製薬企業の医薬品の製造・品質管理について、国際標準へのレベルアップを図ることを目的として、PIC/S GMPへの対応に重要な事項とされている「データインテグリティ」について、2日間にわたり講義及び個人演習、グループワークにより実践的に学習し、各企業のGMP担当部門が実施している取り組みへの理解を深めるとともに、『海外からのGMP査察結果への対応』をテーマに講演会を開催しました。

● 薬剤師等人材確保に関する事業

県内製薬企業における優れた人材の確保を図るため、本県医薬品業界の現状や個別企業の特徴等を紹介したパンフレットを6,000部作成し、全国の薬科大学等(75校)へ配布するとともに、富山市内で製薬企業セミナーを開催しました。また、県内製薬企業において薬学部生を対象としたインターンシップ事業を行い、県内外4大学から6名の参加があったほか、県内理工系学生を対象に県内製薬企業のインターンシップの紹介も行いました。

● ものづくり女子育成事業

女性に向けたものづくり産業の魅力のアピール等に取り組み、ものづくり産業への女性の参画・定着を目的に県の委託を受け、女子高校生等の製薬企業の見学や高校への出前講座を実施しました。

● サマースクール等への支援

富山大学、富山県立大学が実施する東京圏の学生を対象としたサマースクールにおいて、当会会員企業による、インターンシップ型実習(6社)、製薬工場見学等(2社)、当会会長による講義等の支援を行いました。

4. 配置薬業振興センターの運営と振興事業

● 後継者の確保育成事業

配置薬業のイメージアップを図った業界紹介の小冊子「マンガで見る配置薬業」を1万部作成し、県内中学校・高校等に配布するとともに(実施事業会計)、高校生を対象にした製薬工場の見学、高校薬業科での特別講演会の開催などを実施したほか、「くすりの富山」エキスパート支援事業として、製薬メーカーと富山県薬事総合研究開発センターにおいて製薬や分析技術等に関する体験実習を実施し、製薬分野でのレベルアップと就業促進を図りました。

● 配置販売業の許可及び配置従事者身分証明書の交付申請事務に関する事業

配置販売業の許可及び配置従事者身分証明書、従事登録申請の取りまとめを行いました。

5. 「富山のくすり」の新展開支援事業

● 製造業の新展開支援に関する事業

配置販売業を取り巻く環境変化に対応するため、「富山のくすり」の新たな事業展開の検討を行い、業界の活性化を図るため、製造業新展開支援事業として、委受託委員会を開催し、委受託製造の促進・生産性の向上について、協議を行いました。

●**富山県薬業連合会の英語版ホームページのリニューアル**

本会の世界に向けた情報発信並びに会員企業における海外ビジネス展開の拡大を図るため、2019年3月に、富山県薬業連合会の英語版ホームページのリニューアルを行いました。

URL：<http://www.toyama-kusuri.jp/en/>

●**配置薬の情報提供・相談応需に関する事業**

フリーダイヤル（0120-598-189）を設け、「富山のくすり」について、消費者からの相談や質問に応えました。

6. **医薬品・医薬部外品製造業と製造販売業に係わる薬機法や各種制度に関する事業**

●**製薬技術委員会に関する事業**

製薬技術委員会において、「元素不純物の課題に関する調査研究」、「GMP 指摘事項の事例調査研究」をテーマに検討を行い、報告書を作成し会員に配布するとともに研究発表会を開催するなど、品質管理や品質管理技術等のレベルアップを図りました。

●**製剤技術者人材育成に関する研修事業（実施事業会計）**

医薬品製造技術者のレベルアップを図ることを目的として、今年度は、若い技術者・従業員を対象とした初級クラスと処方検討やより高度な製剤技術の取得を目的とした中級クラスの二本立てにし、「無菌製剤・外用剤の基礎と応用」を年間テーマに富山県製剤技術研修会を8回実施しました。

●**製造・品質管理に必要な検査技術の維持・向上に関する事業**

分析データ信頼性確保事業として、県内医薬品製造業者を対象に、イブプロフェン含有顆粒剤のHPLC定量試験、L-イソロイシンのpH試験、L-グルタミン酸の電位差滴定法定量試験、チアンフェニコールのUV定量試験を行い、その結果を集計、解析し、富山県薬事総合研究開発センターが個別に分析技術指導を行い、製造業者の試験検査技術の維持・向上を図りました。

7. **富山のくすり販路拡大事業**

●**富山くすりフェアの開催事業**

富山県及び関係6市町と業界で組織する富山くすりフェア実行委員会は、昨年度に引き続き、2019年3月6～8日の3日間、東京駅丸の内南口にあるJPタワー「KITTE」の地下1階イベントスペースで富山くすりフェアを開催しました。会場では、薬研や乳鉢を使ったドライハーブ入浴剤のワークショップや健康ドリンクバーに丸の内周辺のビジネスマン、OL等、多くの来場者で賑わいました。今回、滑川高校薬業科の生徒が製薬企業と共同開発した化粧品が販売され、開発に携わった生徒4名が会場で商品の説明を行いました。また、物産コーナーでは、富山の名産品に加えて、富山市が発刊した『富山の置き薬（上巻）』も販売されました。

●**「富山のくすり」の販路拡大推進に関する事業**

配置薬の利用促進と新規顧客開拓を支援するため、東京のアンテナショップ「日本橋とやま館」において、2018年11月23日～25日の3日間並びに2019年2月8日～10日の3日間に、富山のくすりのイベントを行い、配置薬の展示・販売によるPRを行いました。

●**宣伝事業の効率的な実施に関する事業**

紙風船、パンフレットの他、トートバック等のPRグッズを作成し、各種行事、大会等で配布し「富山のくすり」のPRを行いました。

また、北陸新幹線を利用する県外観光客等に対して宣伝を行うため、JR富山駅にあるデジタルサイネージを利用し広告を実施した他、富山空港ターミナルビルや富山市内を運行するライトレールの電停（犬島新町）に広告を実施し「富山のくすり」のPRに努めました。

8. 医薬品の物流共同化及び各種情報の収集と提供に関する事業

共同輸送事業実行化について、定期的に進捗会を開催し、情報の収集提供に努めた他、医薬品輸送時の品質確保のための研究の他、PIC/S GDPに関する情報交換等を行いました。

9. 医薬品関連企業と医薬品製造業者との連携に関する事業

● 医薬品関連企業と製薬企業の意見交換会

医薬品関連企業の会員数の増加などを受け、引き続き、会員企業間の相互理解を図るとともに、各社のPRや課題の解決を図ること等を目的として、製薬企業と関連企業との連携事業を行うこととし、その一環として、「医薬品生産・製造設備」をテーマとした連携セミナーを開催しました。

10. 富山県薬業会館及び富山県薬業連合会研修センターの運営と管理に関する事業

11. 関係団体の事業関与並びに事業推進と事務代行

【関係団体名】

富山県医薬品工業協会
富山県薬業教育振興会

富山県配置薬業青年連合会
富山県配置家庭薬傷害共済会

この他、上記の事業に附帯する事業及びその他本会の目的達成に必要な事項。